

2023年度 学校案内

いのちを守る
資格をとる。

課程:准看護師 養成



大津市医師会立看護専修学校

准看護師への夢、応援します。

― 医師をサポートし、患者さんに貢献する大切な仕事 ―



大津市医師会は、明治7年(1874年)11月に、医師会の萌芽といえる「弘業社」を結社し、148年目となり令和4年6月現在507名の会員で構成されております。公益社団法人として大津市民の皆様が健康で安心して暮らしていただける社会をつくるための活動を行政、大津市歯科医師会、大津市薬剤師会等と共に進めてまいりました。

事業の一つとして准看護師養成に昭和63年から取り組み、多くの卒業生が各分野で活躍していただいております。さあ、皆さん、資格を取得して一緒に医療現場で人々の笑顔のために仕事をしてまいりましょう。



公益社団法人大津市医師会 会長 重永 博



当校は、生命の大切さを理解し、相手の気持ちになれる優しい心を持った規律正しい准看護師を育成する学校です。新規卒業者だけでなく社会経験者にも門戸を開け、明るい将来へ向けチャレンジ出来ます。授業では教えてもらうだけではなく自らアクティブに取り組んでもらっています。チームプレーの大切さも教えています。

人間一人では何も出来ません。何事にも挑戦できる活動的な方の入学を待っています。夢を大きく広げる新しい一歩を踏み出してください。



大津市医師会立看護専修学校 校長 伊藤 雅夫

学校 理念

本校は生命の尊厳と人権の尊重を基盤として教育し、誠実で思いやりのある、豊かな感性を持った看護の実践者を育成することを目指す。

また、准看護師として必要な知識・技術・態度を修得し、心身ともに健康で専門職としての志を持ち続け、保健・医療・福祉チームの一員として地域医療に貢献できる看護実践力を持つ准看護師を育成する。

学校の概要

School Profile *



大津市医師会が設立した、唯一の専修学校。 確かな技術でサポートします。

本校は、公益社団法人大津市医師会が地域医療の向上と発展のため、特にプライマリ・ケアを担う医療機関の准看護師を養成することを目的として、昭和63年4月に設置された専修学校です。開校以来、多くの卒業生が各方面で活躍しています。



あなたのライフスタイル、将来設計に合わせて 学ぶことができます。

- ①新規卒業生だけでなく**社会経験者**にも門戸を開けています。
- ②豊富な経験を有する**医師、看護師**などが教育します。
- ③入学試験は、**推薦入学試験**と**一般入学試験**の2つの方法があります。
- ④**奨学金制度**があります。(滋賀県看護職員修学資金制度)
- ⑤**通学定期の割引制度**があります。

社会経験者
歓迎

奨学金
あります

医師・看護師
が直接指導



■ 課程・定員等

課程	修業年限	入学定員	総定員	備考
准看護師課程	2年	30名	60名	昼間定時制

■ 入学資格

- ・中学校卒業(見込みを含む)以上の者
- ・心身ともに健康である者

■ 奨学金制度

滋賀県看護職員修学資金

貸与が認められ、卒業後一定の条件を満たした場合に限り、全額返還免除となります。

■ 通学定期の割引制度

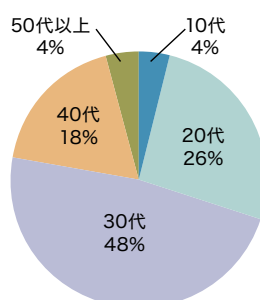
本校は学生割引の指定校になっています。

■ 卒業後の資格

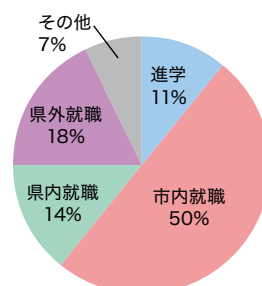
関西広域連合が施行する准看護師試験の受験資格が与えられます。
過去10年間の資格試験の合格率は98.5%です。



■ 入学者の年齢層(過去3年間)



■ 卒業生の進路状況(過去3年間)



授業の概要

The course description *

准看護師資格合格に向けたカリキュラム

■ 教育内容及び時間数

1 学年では主に基礎分野・専門分野を学び、
2 学年では主に臨地実習に各病院施設へ行きます。

	科 目	時間数
基礎分野	言語コミュニケーション論	31
	情報通信技術(ICT)	4
	その他(社会福祉)	35
専門基礎分野	人体のしくみと働き	105
	栄養	35
	薬理	70
	疾病の成り立ち	105
	保健医療福祉のしくみ	35
	看護と法律	35
専門分野	基礎看護	385
	看護概論	70
	基礎看護技術	245
	臨床看護概論	70
	成人看護	210
	老年看護	70
	母子看護	70
	精神看護	70
	臨地実習	735
	基礎看護技術	210
	成人看護	385
	老年看護	70
	精神看護	70
	母子看護	70
合 計		1,890

■ 主な年間行事

1 学 年	
4月	入学式 新入生歓迎会
6月	大津市内施設見学
7月	社会福祉施設の見学
11月	戴帽式 基礎期臨地実習開始
3月	基礎期臨地実習終了
2 学 年	
4月	総合期臨地実習開始
7月	研修旅行
8月	ボランティア参加(夏期休暇中)
11月	総合期臨地実習終了
1月	卒業試験
2月	「私の看護観」発表会 准看護師資格試験
3月	卒業式



■ 授業時間帯

※カリキュラムの都合により、実習の時期はずれることもあります。 ※1、2年を通して第2・4土曜日は休日です。

1
学
年

(4月~11月)	月	火	水	木	金	土
1 9:15~ 10:45						
2 11:00~ 12:30						
3 13:30~ 15:00			[授業]			
4 15:15~ 16:45						
(12月~3月)	月	火	水	木	金	土
1 9:15~ 10:45						
2 11:00~ 12:30			[病院実習] (8:30~16:30)			
3 13:30~ 15:00			[授業]			
4 15:15~ 16:45						

2
学
年

(4月・12月~3月)		月	火	水	木	金	土
1	9:15~10:45						
2	11:00~12:30						
3	13:30~15:00		【授業】				
4	15:15~16:45						
(5月~11月)		月	火	水	木	金	土
1	9:15~10:45						
2	11:00~12:30						
3	13:30~15:00		【病院実習】 (8:30~16:30)				
4	15:15~16:45	【授業】					【授業】

卒業生からのメッセージ

Message*



卒業生 より

この2年が開いてくれる看護への道

22期生 中村 倫子

私は、英米語学と臨床心理学を学び、それらに関係する仕事に就いたのち、本校に入学しました。看護学・医学を学習し、実習で患者さんと接する中で「目の前の患者さんは何を必要とし、自分にどんな看護ができるか」について、深く考える訓練をしました。卒業後は精神科に勤務しながら正看護師免許、看護学士を取得し、今は北米の看護師国家資格の勉強をしています。本校の2年間の学習は、これまで私が通学したどの学校よりもハードで、内容の濃いものでした。私の看護の礎を築いてくれた最初の2年間で、熱意ある先生方や様々な背景を持った仲間たちと過ごせたことは、私の人生にとって宝であり誇りです。大津市医師会立看護専修学校の学歴は北米の看護機関でも確実に評価されるものであり、日本のみならず、世界の看護へと通じる道を作ってくれます。これから看護の道を志そうとされている方、この初めの一步とこれから始まる努力の日々、患者さんや実習先のスタッフの方々、先生方や仲間から得られるかけがえのない学びが、皆さんの人生を飛躍させ、実りのあるものにしてくれることと思います。

看護への道のり

24期生 福田 雅之

私は社会人入学で働きながらの学校生活でした。日常に追われる生活をしており、入学当初は毎日の生活でやっとでした。学校での勉強や実習は易しいものではありませんが、悩んで立ち止まった時には必ず先生や仲間の助けがあり乗り越えていけました。特に病院実習で患者様の入院生活での悩みを肌で感じながら、自分なりの援助計画をたてたり、援助計画を実践し悩むなかで、より良い看護とはどんなものなのか、患者様が必要とされる看護は何なのかを考え、指導者さんにアドバイスを受けてたり、患者様から励まされたりしました。そのなかで、「看護師になる」という自覚をしたのをはっきりと覚えています。同時に看護師という仕事の楽しさ素晴らしさにも気づかせてもらいました。振り返ると全てが学びで、一つ一つが看護の視点となって今も私の中で生きています。2年という日々は本当にあっという間に過ぎていきます。「学ぶ」という気持ちを大切に看護の扉を開いていけばきっと充実した素敵な時間になります。看護の道を志すきっかけは色々だと思います、踏み出したいという気持ちを大切に頑張ってください。応援しています。

【平成5年11月6日発行 大津市医師会120年史より】

大津市医師会立看護専修学校 設立の趣意

(昭和63年4月から大津市医師会立看護専修学校校長に就任)

初代校長(旧 社団法人 大津市医師会 会長) 山中 孟



21世紀を目前にして、地域医療の体制は大きな変革が進みつつある。その中で、高度医療を中心とする病院医療と、プライマリ・ケアを担当する診療所医療が、それぞれの役割を果たし、且つ相互に緊密な連携をもつ体制を確立することが基本的に必要である。

一般的に病院は近年、人的、物的両面の整備充実が著しく進められてきたが、診療所が期待される特有の機能を十分に発揮するための整備は、色々な面からみてかなりの遅れがある。その第一にあげられるのが看護要員の問題である。有床無床を問わず診療所が有資格の看護婦を確保することは極めて困難な状況である。とくに滋賀県の診療所における有資格看護婦の雇用率は有床無床ともに全国最下位レベルであり、その大半が無資格者に頼っている現状である。

このようなことでは、現代社会のプライマリ・ケアを担当する医療機関として社会の信頼が得られなくなることは必定である。新時代に即応した地域医療機関の発展充実をはかるため、あらゆる困難を排して敢えて医師会立看護婦学校設立を企図したのである。

昭和62年3月25日

【学校の沿革】

昭和63年4月 大津市医師会立看護専修学校として
「大津市本宮(旧大津市民病院施設)」に開校
カリキュラム「授業時間 849時間」でスタート

平成 2年4月 カリキュラム改正「授業時間 1,500時間」

平成 5年4月 入試制度改正「推薦入試と一般入試」

平成 6年4月 「大津市中央(大津市立中央小学校校舎)」へ移転

平成14年3月 「准看護婦・士」が「准看護師」に名称変更

平成14年4月 カリキュラム改正「授業時間 1,890時間」

平成18年4月 「大津市園城寺町」へ校舎移転

【学校案内図】



- JR大津駅より徒歩15分
- 京阪・大津市役所前駅より徒歩10分

オープンキャンパス(予定)などの
最新情報はホームページから！



大津市医師会立看護専修学校

検索

大津市医師会立看護専修学校

〒520-0036 大津市園城寺町字常在寺233-5
TEL.077-526-2059 FAX.077-526-2893
E-mail:nurse@otsu.shiga.med.or.jp